中学校１年【理科】『新版　理科の世界１』（大日本図書）　（例）

教科書を活用した家庭学習例～計画的な家庭学習へ向けて～

|  |  |
| --- | --- |
|  | 課題内容 |
| 第１回 | 【単元名】身近な生物の観察　【ページ】６～１１ページ  【学習の流れ】  １　６ページを読んで、観察のようすを把握する。  ２　家庭で見られる植物や今まで見たことがある植物  （８～１１ページ）に丸印をつける。  ３　印がついていない植物の特徴をノートにまとめる。  【学びの確認】  ・資料集〇ページで植物名を確認しましょう。 |
| 第２回 | 【単元名】身近な生物の観察　【ページ】１２，１３ページ  【学習の流れ】  １　１２，１３ページを読んで、ルーペの使い方、双眼鏡の使い方、スケッチのしかたについて、大切だと思う箇所に下線を引く。  ２　ルーペの使い方、双眼鏡の使い方、スケッチのしかたをノートにまとめる。  【学びの確認】 |
| 第３回 | 【単元名】身近な生物の観察　【ページ】１４，１５ページ  【学習の流れ】  １　１４ページを読み、「植物と生えている場所の特徴」の調べ方について把握する。  ２　１５ページを読み、レポートで大切だと思う記述に線を引く。  【学びの確認】  ・資料集〇ページで植物と生えている場所の特徴を確認しましょう。 |
| 第４回 | 【単元名】身近な生物の観察　【ページ】１６，１７ページ  【学習の流れ】  １　１６ページを読み、観察の手順を把握する。  ２　１７ページを読み、水中で生活する微小な生物の特徴をまとめる。  【学びの確認】  ・微小な生物の特徴が分かったか、問題集〇ページを解いてみましょう。 |
| 第５回 | 【単元名】身近な生物の観察　【ページ】１８，１９ページ  【学習の流れ】  １　１８，１９ページを読んで、顕微鏡の使い方、双眼実態顕微鏡の使い方について、大切だと思う箇所に下線を引く。  ２　顕微鏡の使い方、双眼実態顕微鏡の使い方をノートにまとめる。  【学びの確認】  ・顕微鏡の使い方、双眼実態顕微鏡の使い方が分かったか、問題集〇ページを解いてみましょう。 |